

## 週刊 タバコの正体

タバコは人々の健康に大きなダメージを与えます。喫煙者本人はもちろん、その周りの人にも副流煙による健康被害をもたらす事は、皆さんはよく知っています。じつは、タバコを製造して売っている会社も知っています。だから、タバコのパッケージには、次のような警告文が必ず印刷されています。

喫煙は、あなたにとって肺がんの原因の一つとなります。疫学的な推計によると、喫煙者は肺がんにより死亡する危険性が非喫煙者に比べて約2倍から4倍高くなります。

喫煙は、あなたにとって心筋梗塞の危険性を高めます。疫学的な推計によると、喫煙者は心筋梗塞により死亡する危険性が非喫煙者に比べて約 1.7 倍高くなります。

喫煙は、あなたにとって脳卒中の危険性を高めます。疫学的な推計によると、喫煙者は脳卒中により死亡する危険性が非喫煙者に比べて約 1.7 倍高くなります。

喫煙は、あなたにとって肺気腫を悪化させる危険性を高めます。

タバコなんか、まったく興味のない人が増えていますので、「へー、そんなこと書いてるんや」って初めて知った人もいます。

さて、よく考えて下さい。「この商品を口にすると、死ぬ危険性が4倍になります」と書かれている食べ物を買う人はいるでしょうか。

冷静になればなるほど、そんな事を堂々と書いている物が売られている事が、おかしいと感じるのですが、現実には、タバコという商品は年間2000億本以上も売られています。どうして、そんな変な現象が起きてしまうのでしょうか。

それは、“ニコチン依存症”という病気のせいです。一旦、この病気にかかると、いくら「死ぬ危険性が4倍になるで」って言われても買い続けるしかなくなるのです。これがタバコの罠です。だから、「肺がんの原因になります」って書いているのに買うのは、買う方の勝手だと言ってしまうのは、あまりにもニコチン依存症の人たちが気の毒でかわいそうです。

どうか皆さんは、ニコチン依存症の人たちのそんな事情を察して、タバコを吸わせてあげるのではなく、禁煙できるよう助けてあげてほしいと思います。

産業デザイン科 奥田 恭久